

セメント試験成績表



2024年(令和6年)4月度

太平洋セメント株式会社

種類 品質	普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高炉セメント B 種 JIS R 5211				
	JIS 規格値	試験成績			JIS 規格値	試験成績			JIS 規格値	試験成績			
		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)	
密度 g/cm ³	—	3.16	—	—	—	3.14	—	—	—	3.04	—	—	
比表面積 cm ² /g	2500以上	3420	60	—	3300以上	4450	65	—	3000以上	3810	50	—	
凝結	水量 %	—	27.5	—	—	30.0	—	—	—	28.8	—	—	
	始発 h-min	60min以上	2-22	—	(2-00)	45min以上	1-51	—	(1-20)	60min以上	3-17	—	(2-20)
	終結 h-min	10h以下	3-21	—	4-15	10h以下	2-38	—	3-20	10h以下	4-40	—	5-30
安定性	パット法	良	良	—	—	良	良	—	—	良	良	—	—
圧縮強さ N/mm ²	1 d	—	—	—	—	10.0以上	24.7	1.43	—	—	—	—	
	3 d	12.5以上	32.0	1.41	—	20.0以上	47.5	1.54	—	10.0以上	22.7	1.02	—
	7 d	22.5以上	47.3	1.45	—	32.5以上	59.6	1.58	—	17.5以上	38.6	1.23	—
	28d	42.5以上	61.9	1.61	—	47.5以上	70.3	1.81	—	42.5以上	64.4	1.70	—
水和熱 J/g	7 d	—	343	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	28d	—	389	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
化学成分 %	酸化マグネシウム	5.0以下	1.33	—	1.54	5.0以下	1.26	—	1.68	6.0以下	3.38	—	3.82
	三酸化硫黄	3.5以下	2.10	—	2.35	3.5以下	2.91	—	3.18	4.0以下	2.07	—	2.43
	強熱減量	5.0以下	2.28	—	2.99	5.0以下	1.31	—	1.51	5.0以下	1.89	—	2.22
	全アルカリ	0.75以下	0.49	—	0.61	0.75以下	0.40	—	0.56	—	—	—	—
	塩化物イオン	0.035以下	0.015	—	0.030	0.02以下	0.007	—	0.015	—	0.015	—	—

備考

試験方法はJIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203及びJIS R 5204による。
28 d 圧縮強さ及び28 d 水和熱は前月度の値を示す。

全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大の値
普通ポルトランドセメント 0.62%
早強ポルトランドセメント 0.60%

高炉セメント B 種
ベースセメントの全アルカリ 0.49%
高炉スラグの分量 40~45%

検査(試験)表の確認	
目付	6年4月10日
検査者	(大田)
結果	◎・否
日本ハイコン株式会社	

承認	品管者	検査課長	担当
	(別所)		(大田)
日本ハイコン株式会社			

お問い合わせその他のご連絡先

太平洋セメント株式会社 中国支店 技術部

☎730-0811 広島市中区中島町3-25

ニッセイ平和公園ビル 10F

☎ 082-504-8612

コンクリート用膨張材試験成績表

商品名:太平洋エクспан(製品用)

太平洋マテリアル株式会社



区分:膨張材30型

(2024年4月度製造分)

試験項目		JIS A 6202 による規定値	試験値	
化学成分	酸化マグネシウム (%)	5.0 以下	0.6	
	強熱減量 (%)	3.0 以下	1.3	
	全アルカリ (%)	0.75 以下	0.20	
	塩化物イオン (%)	0.05 以下	0.012	
物理的性質	比表面積 (cm ² /g)	2000 以上	4150	
	1.2mmふるい残分 (%)	0.5 以下	0.0	
	凝結 (h-min)	始発	60min 以上	2-45
		終結	10h 以下	3-50
	膨張性 (長さ変化率) (%)	材齢 7日	0.025 以上	0.055
		材齢 28日	- 0.015 以上	0.019
	圧縮強さ (N/mm ²)	材齢 3日	12.5 以上	36.3
		材齢 7日	22.5 以上	48.0
材齢 28日		42.5 以上	65.4	

◎ 試験方法は、JIS A 6202 による。

◎ 1.2mmふるいは、JIS Z 8801-1に規定する公称目開き1.18mmの網ふるいである。

◎ 材齢28日の膨張性および圧縮強さは、前回製造月の値を示す。

承認	品管者	検査課長	担当
	別所		太田

日本ハイコン株式会社

試験項目		平均値
物理的性質	密度 (g/cm ³)	3.15

◎ 密度試験は、JIS R 5201 による。

お問合せ先: 太平洋マテリアル株式会社 営業本部混和材営業部

〒114-0014 東京都北区田端六丁目1番1号 田端ASUKA77-15F TEL:03-5832-5218

検査(試験)表の確認	
日付	6年5月10日
検査者	太田
結果	合・否
日本ハイコン株式会社	

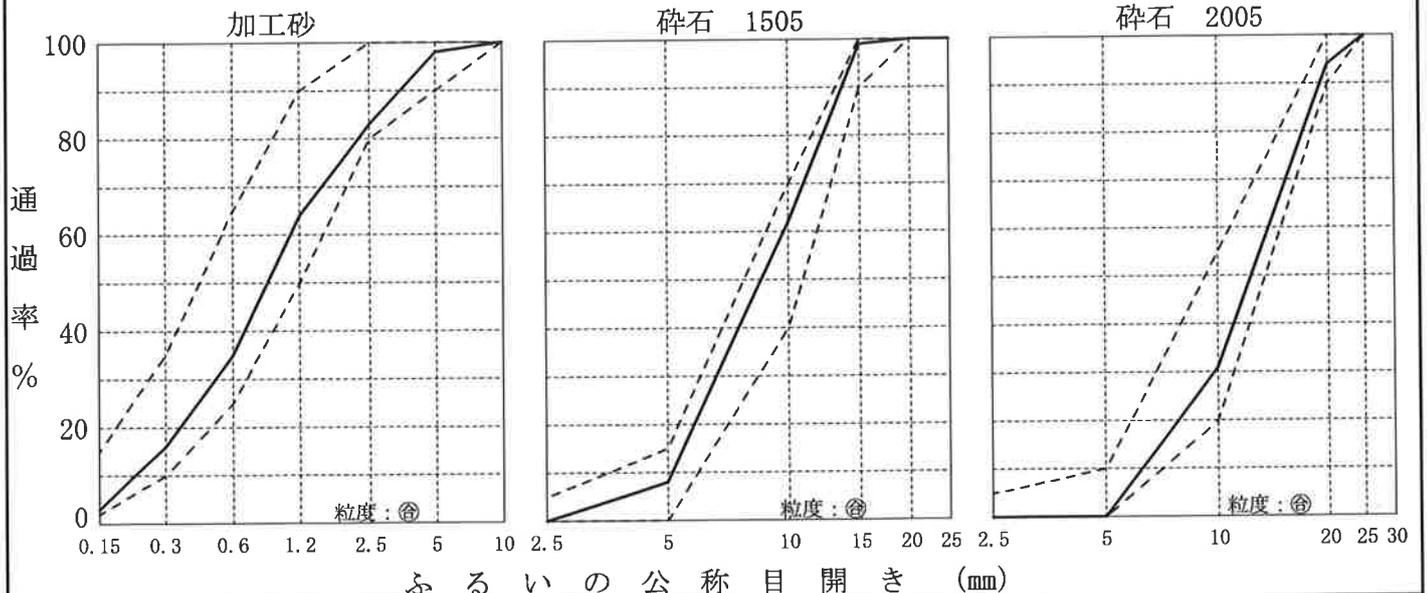
■ 骨材試験成績書 ■

令和 6 年 4 月度

	産地品名	骨材名称	検 印 欄		
骨材①	島根県仁多郡奥出雲町	加工砂	合否判定	所属長	品管者 担 当
骨材②	広島県三次市布野町	碎石 1505	合格	別所	別所
骨材③	岡山県真庭市神代ヘシ谷	碎石 2005			
骨材④					

試験項目	骨材①	骨材②	骨材③	骨材④	ふるい分け試験 (通過率%)				
					ふるい(mm)	加工砂	碎石 1505	碎石 2005	
最大寸法(mm)	5	15	20						
表乾密度 (g/cm ³)	2.56	2.70	2.68		150				
絶乾密度 (g/cm ³)	2.52	2.69	2.67		100				
吸水率 (%)	1.54	0.53	0.24		80				
単位容積質量 (kg/L)	1.62	1.58	1.52		60				
実積率 (%)	64.5	58.7	57.1		50				
微粒分量 (%)	1.4	0.4	0.2		40				
粘土塊量 (%)	0.08	0.05	0.03		30				
粒形判定実積率 (%)	-	-	59.6		25		100	100	
有機不純物 (標準色よりも)	薄い	-	-		20		100	94	
塩化物量 (%)	0.001	-	-		15		99		
安定性 (%)	2.2	0.7	1.7		10	100	62	31	
密度1.95に浮く粒子 (%)	-	-	-		5	98	8	0	
すりへり減量 (%)	-	10.8	14.9		2.5	83	0	0	
アルカリシリカ反応性	無害	無害	無害		1.2	64			
					0.6	35			
					0.3	16			
					0.15	3			
					粗粒率	3.01	6.30	6.75	

粒 度 曲 線



備考:

御中

発行No.

489

発行日

2024年4月1日

INSPECTION CERTIFICATE OF NAS SAND
コンクリート用フェロニッケルスラグ細骨材試験成績書
(JIS A 5011-2)
(商品名 ナスサンド)

Lot No. 24306

製造業者：日本冶金工業株式会社大江山製造所

製品の呼び名	酸化カルシウム (CaOとして)	酸化マグネシウム (MgOとして)	全硫黄 (Sとして)	全鉄 (FeOとして)	金属鉄 (Feとして)	絶乾密度 g/cm ³	吸水率 %	単位容積質量 kg/L
FNS 1.2 A	4.7	28.2	0.1	5.9	0.3	3.11	0.31	1.80
規定値 FNS1.2 規格 JIS A 5011-2	15.0以下	40.0以下	0.5以下	13.0以下	1.0以下	2.7以上	3.0以下	1.50以上

製品の呼び名	ふるいを通過する質量分率 %						粗粒率 ^{a)}	アルカリシリカ 反応性	微粒分量 % ^{c)}		備考	
	5 mm	2.5 mm	1.2 mm	0.6 mm	0.3 mm	0.15 mm						
FNS 1.2 A	100	100	97	76	46	21	1.60 (1.70)	膨張率 (%) 0.019	0.9			
規定値 FNS1.2 規格 JIS A 5011-2	100	95~100	80~100	35~80	15~50	10~30	購入契約時に定められた粗 粒率に対して±0.20の範囲の ものでなければならない。	判定 ^{b)} A	2023年7月分	2.0% +3.0% -2.0%	(協議値) (許容範囲)	

- 注 a) 括弧内は、購入契約時に定められた粗粒率を記入する。
b) 判定試験結果による区分をA又はBと記入する。
c) 微粒分量は、購入契約時に定められた値と許容範囲内を規定する。

発行責任者
NIPPON YAKIN KOGYO CO., LTD. OHEYAMA PLANT
日本冶金工業株式会社 大江山製造所

Y. Nakayama

Manager of Quality Control
品質管理責任者

上記の通り、この材料は、指定の規格に従って製造され、試験されたものであり、その最新のJIS規格を満足していることを証明致します。



発行番号：第 2 3 C 0 4 9 5 号
発行日：2024年 3月27日

品質性能試験報告書



一般財団法人 建材試験センター
西日本試験所長 白岩 昌
山口県山陽小野田市大字山



試験名称	骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）						
依頼者	名称：株式会社サンテック 所在地：島根県仁多郡奥出雲町下阿井1766-1						
試験項目	膨張率（長さ変化の測定），外観観察						
試料	産地：島根県仁多郡奥出雲町下阿井 種類：加工砂（花崗岩） 採取日：2023年 9月 7日 外観写真： 						
	記載事項は、依頼者の提出資料による。						
試験方法	JIS A 1146 [骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（モルタルバー法）] に従った。 なお、セメントの全アルカリは、 $Na_2O=0.25\%$ 、 $K_2O=0.42\%$ 、 $Na_2O_{eq}=0.53\%$ である。 また、供試体貯蔵容器底面には水を張り、相対湿度95%以上で貯蔵した。						
試験結果	試験項目	材 齢	2週	4週	8週	13週	26週
	膨 張 率 (%)	1	0.004	0.006	0.008	0.009	0.011
		2	0.007	0.009	0.011	0.011	0.014
		3	0.006	0.009	0.010	0.011	0.014
		平均	0.006	0.008	0.010	0.010	0.013
外観観察	異状なし						
判定	無 害 ✓						
試験期間	2023年 9月12日 ~ 2024年 3月27日						
担当者	試験課長 佐川 修 松原 竜馬（主担当） 杉原 大祐						
試験場所	西日本試験所（山口県山陽小野田市大字山川）						

以上

本試験の結果は、提出された試料（試験体）のみに関するものである。
試験所長の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部分のみを複製してはならない。

副本



【認定番号 第53号】

骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）報告書

〒700-0943

岡山県岡山市南区新福一丁目21番37号

一般社団法人 岡山県コンクリート技術センター

TEL:086(264)6374 FAX:086(264)6879

承認署名者 所長 加藤 美千夫



株式会社 マルケイ殿

試験品目に関する説明【顧客申請事項】

顧客の名称	株式会社 マルケイ
連絡先	岡山県真庭市江川846番地
試料の種類	砕石 2005
岩石名	硬質砂岩
産地	真庭市神代ヘシ谷地内
採取日	2023年8月1日
採取場所	真庭市神代ヘシ谷地内
備考	—

試験結果【試験所証明事項】

受付年月日	2023年8月2日					
識別番号	M230202					
試験終了日	2024年2月6日					
試験場所	一般社団法人岡山県コンクリート技術センター試験室					
試験方法	JIS A 1146:2022					
モルタルの配合	使用材料	セメント	600 g			
		骨材	1350 g			
		水+NaOH	300 mL			
	使用した普通ポルトランドセメント[一般社団法人セメント協会研究所]の全アルカリ量は $\text{Na}_2\text{O}_{\text{eq}}=0.53\%$ である。					
湿度95%以上を確保した手段	恒温恒湿槽にて吸取紙による被覆、容器底面の水張りをおこなった。					
試験結果	(1) 供試体の膨張率 %					
		2週	4週	8週	13週	26週
	1	0.005	0.006	0.009	0.011	0.014
	2	0.004	0.006	0.009	0.011	0.014
	3	0.003	0.006	0.008	0.009	0.012
	平均	0.004	0.006	0.009	0.010	0.013
		(2) 供試体の外観観察				
	2週	4週	8週	13週	26週	
	異常無し	異常無し	異常無し	異常無し	異常無し	
判定	無害					
	判定基準:3本の平均膨張率が、26週後に0.100%未満の場合は無害とする。					

■本報告書は、顧客が採取し顧客が持ち込んだ試験品目に対する結果を示すものです。

■当センターの事前承認なしに、この報告書の一部分だけを複製して用いることは禁じられています。

品管者	検査課長	担当
所		太田

【副本】

骨材のアルカリシリカ反応性（化学法）試験結果報告書

岩倉産業株式会社 殿

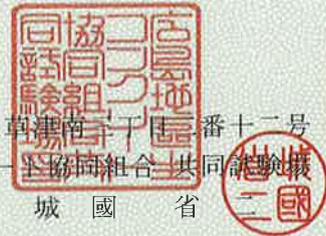
依頼者申請事項

依頼者 岩倉産業株式会社
住所 広島県三次市布野町下布野 462-3
試験品目 粗骨材
骨材種類 砕石 2005
最大寸法 20 mm
産地 広島県三次市布野町下布野 643-1
岩種 安山岩
試料採取日 2023年11月22日
試料採取場所 岩倉産業株式会社 砕石場ストックヤード
試料採取 代表試料約 40kg を縮分し、約 20kg とした。

試験結果は次のとおりであることを証明します。

2023年12月5日

広島市西区真津南三丁目三番十二号
広島地区生コンクリート協同組合 共同試験場
承認署名者・場長 城 國 省



試験依頼日・受領日 2023年11月22日

試験品目 粗骨材

識別番号 231607

受入方法 持込み（持込み者：岩倉産業株式会社）

受入状態 土のう（約 20 kg）×1 袋

試験方法 JIS A 1145：2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）
溶解シリカ量の定量方法 原子吸光光度法

試験期間 2023年11月28日～2023年12月5日

試験場所 試験室

試験結果

項目	1	2	3	平均	判定結果
アルカリ濃度減少量(Rc) mmol/L	52	50	50	51	無害 ✓
溶解シリカ量(Sc) mmol/L	39	39	39	39	

判定基準

- 溶解シリカ量(Sc)が 10mmol/L 以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が 700mmol/L 未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を“無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を“無害でない”と判定する。
- 溶解シリカ量(Sc)が 10mmol/L 未満でアルカリ濃度減少量(Rc)が 700mmol/L 未満の場合、その骨材を“無害”と判定する。
- アルカリ濃度減少量(Rc)が 700mmol/L 以上の場合は判定しない。

	品管者	検査課長	担当
承認	別所		太田

日本ハイコン株式会社

本報告書は依頼された試験品目に対する結果を示すものです。試験結果は受領した試料に適用されます。
当試験場の書面による承認がない限り、本報告書のカラーコピー及び一部分のみを複製して使用することを禁じます。

683-0854

鳥取県米子市

彦名町4500

日本ハイコン株式会社

検査(試験)表の確認	
日付	6年1月10日
検査者	太田
結果	合・否
日本ハイコン株式会社	

花王株式会社

機能材料事業部 エコインフラ

東京：〒131-8501 東京都墨田区文花(2)1-3

TEL. 03-5630-7650

大阪：〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-1

TEL. 06-6533-7433

093660 - 440124

種類 高性能減水剤 I種

商品 マイテイ21LV

承認	品管者	検査課長	担当
	別所		太田

日本ハイコン株式会社

1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュ コンクリート	減水率 %	12 以上	14 ✓	14 ✓	
	ブリーディング量の比 %	—	—	—	
	ブリーディング量の差 cm ³ /cm ²	—	—	—	
	凝結時間の差 分	始発	+90 以下	0 ✓	-10 ✓
		終結	+90 以下	0 ✓	-20 ✓
	経時変化量	スランプ cm	—	—	—
空気量 %		—	—	—	
硬化 コンクリート	圧縮強度比 %	材齢 1日	—	—	
		材齢 2日 (5℃)	—	—	
		材齢 7日	115 以上	141 ✓	137 ✓
		材齢 28日	110 以上	131 ✓	130 ✓
	長さ変化比 %	110 以下	90 ✓	—	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		—	—	—	

注記 1. 1m³当たりの化学混和剤の使用量形式評価試験 2.07 kg/m³, 性能確認試験 2.07 kg/m³

注記 2. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2023年12月の試験結果である。ただし、圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2023年6月の試験結果である。

注記 3. この表に表示している形式評価試験は、2020年6月に花王株式会社で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl⁻)量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中 の含有量	1m ³ 当たりの化学 混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン(Cl ⁻)量	0.02 kg/m ³ 以下	0.00 kg/m ³	0.00 %	2.07 kg/m ³	0.00 kg/m ³ ✓
全アルカリ量	0.30 kg/m ³ 以下	0.02 kg/m ³	0.8 %	2.07 kg/m ³	0.02 kg/m ³ ✓

注記 1. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2023年12月の試験結果である。

注記 2. この表に表示している形式評価試験は、2020年6月に花王株式会社で実施した試験結果である。

3. その他の項目

項目	規格値	試験値
密度 (g/cm ³ 20℃)	1.030 ~ 1.070 g/cm ³	1.049 ✓ g/cm ³

注記. この表に表示している試験値は、2023年12月の試験結果である。

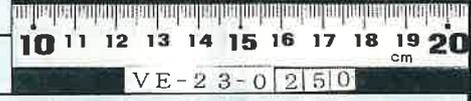
試験番号	VE-23-0250追1
受付日	2023年 8月31日
報告日	2024年 4月 3日

骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)報告書

大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号
 一般財団法人 日本建築総合試験所
 試験研究センター
 センター長 川瀬 博
 報告書発行責任者 山本 篤史
 材料試験室長



依頼者	会社名	日本冶金工業株式会社 大江山製造所
	所在地	京都府宮津市字須津413
試験実施期間		2023年9月27日 ~ 2024年3月27日
試料	種類*	フェロニッケルスラグ FNS1.2(ナスサンド)
	産地*	京都府宮津市字須津413
	採取場所*	日本冶金工業株式会社 大江山製造所
	採取日*	2023年8月29日
	採取者*	宮津海陸運輸株式会社 坂根 隼
	工事名*	_____
	備考	2023年8月31日に当センターへ搬入された。



セメントの全アルカリ 酸化カリウム(K₂O): 0.38%、酸化ナトリウム(Na₂O): 0.27%、全アルカリ(Na₂Oeq): 0.52%

試験方法 「JIS A 1146:2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」とし、相対湿度 95%以上を確保した方法は、吸取紙による被覆とした。モルタルの配合は「JIS A 5011-2:2016 コンクリート用スラグ骨材-第2部:フェロニッケルスラグ骨材 6.4 アルカリシリカ反応性試験」によった。なお、試験は当センター 本部コンクリート実験室にて行った。

試験結果	供試体番号	膨張率 (%)					判定
		2週	4週	8週	13週	26週	
	1	0.008	0.011	0.013	0.013	0.015	無害
	2	0.008	0.009	0.011	0.011	0.012	
	3	0.008	0.012	0.013	0.013	0.014	
	平均膨張率	0.008	0.011	0.012	0.012	0.014	

平均膨張率と材齢の関係を図-1に、試験終了時における供試体の状況を写真-1に示す。

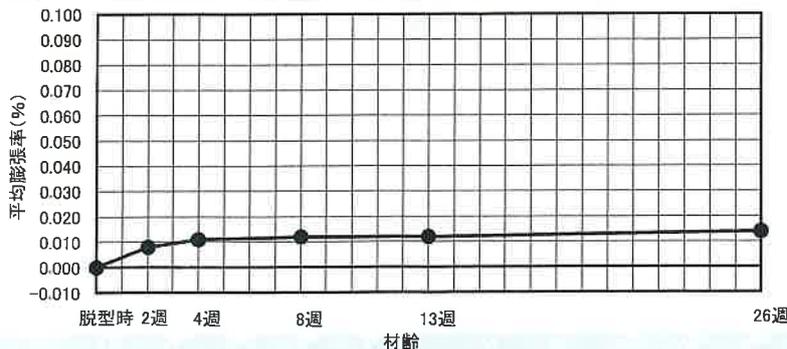


図-1 平均膨張率と材齢の関係

写真-1 供試体の状況(試験終了時)

担当 材料部 材料試験室 試験責任者 澁井 雄斗、試験担当者 丹羽 大地

*: 試験依頼者の情報による。